

昭和二十三年夏 広島

敗戦から三年。

原爆を乗り越え、図書館に勤める美津江のもとに、父・竹造が帰ってきた。

独り生き残ったことが申し訳ない、幸せになってはいけないと自分の未来を拒む美津江を励まそうと原爆で亡くなった父は、幽霊になって帰ってきた。

美津江が心を寄せる青年木下と生きていけるよう、父・竹造の愛情が娘・美津江を動かしていく。

そして、原爆投下のその日、父と娘の思いが結ばれていく。

さて、その結末は……。

八女福島文平座3年目の「父と暮せば」公演。

井上ひさし戦争三部作の代表作。

八女福島文平座がお贈りするお芝居です。

去年見逃した方も、この機会にどうぞご覧ください。

出演

竹造 中村文平 山辺隆人 相川満

美津江 江崎久美子 岸里美



会場 八女伝統工芸館 講義室

日時 8月3日（土曜日） 8月4日（日曜日）

上演 12：30開場 13：00開演 14：30終演

15：00開場 15：30開演 17：00終演

※2日間とも開演時間は同じです。

チケット 大人2000円 中学生以下1000円

※前売り、当日ともに同じ料金です。

4年目の「父と暮せば」皆様のご来場をおまちしております。

お問合せ 八女伝統工芸館 0943-22-3131

八女福島文平座 0943-22-2634

080-5377-2690



後援 八女市 八女市教育委員会